

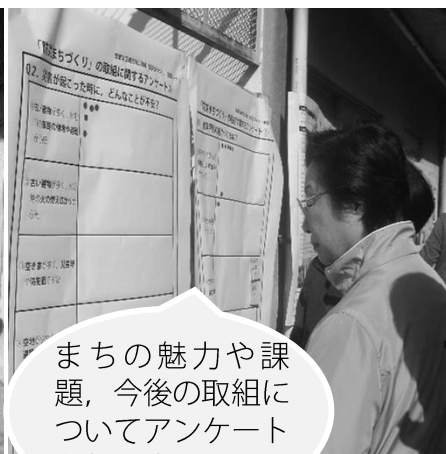


総合防災訓練で『防災まちづくり』の取組 PR をしました！

総合防災訓練では、約 160 名の方に参加いただき、9 月に実施した『防災ウォーク』の結果報告、「防災まちづくり」の取組や耐震に関するパネル展示、市の助成制度の周知・PR を行いました。また、「防災まちづくり」を進めていくためのアンケートを実施し、ご意見をお聞きしました。アンケート結果は下記をご覧ください



たくさんの地域の方に取組を周知しました！



＜「防災まちづくり」に関するアンケート結果＞

Q1.
聚楽学区の魅力ってなに？

一番多かった回答は、「路地や京町家など、京都らしい町並みが残っている」であり、次いで多かったのは「地域の付き合いなど、コミュニティがしっかりとしている」という回答でした。

Q2.
災害が起こった時、どんなことが不安？

最も多かった回答は、「地震時の家屋の倒壊や避難が心配」であり、次いで、「高齢化による避難」や「火災時の火の燃え広がり」が不安という回答でした。

Q3.
まちの魅力を残しながら、防災上の不安をなくすために必要なことは？

一番多かった回答は、「避難のルールづくりや防災に関する意識啓発など、地域の防災力を高める」であり、次いで「緊急車両の通行や消防活動の中心となる広い道を整備する」、「まちの歴史や京都らしさがある今の町並みを残していく」という回答でした。

「防災まちづくり」に関するアンケートにご協力ありがとうございました！

『防災まちづくり意見交換会』を開催しました！

意見交換会では、各町の町会長と町防災部長（14名）にご参加いただき、『防災ウォーク』の結果を踏まえ、**各町が抱える防災上の課題**や**災害時に役立つ地域資源**、**まちの魅力**、「地域の集合場所」等について**再確認**を行いました。

また、学区内の危険を取り除くための「**すぐに出来る対策**」や防災上の課題に対する**学区・町内・一人ひとりが取り組むべきこと**について、ご意見やアイデアをいただきました。



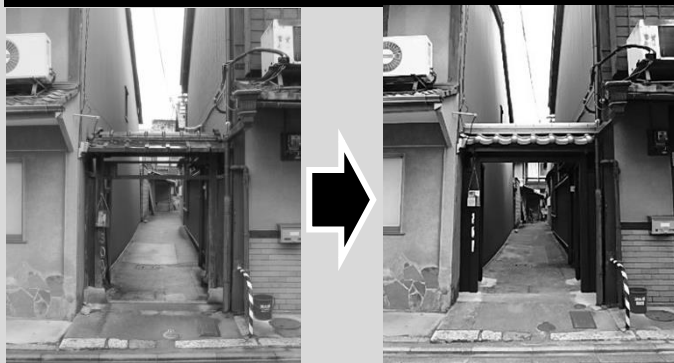
【参加者からの主な意見】

- ・ 防災の意識も高まり、有意義な会合だった。
- ・ 問題はたくさんあるが、できることをする。建物の耐震をもっとアピールしてほしい。
- ・ 本日話したことや聞いた内容を町内の皆さんにも回覧し、意識を高めてもらおうと思う。

具体的な防災まちづくり対策の実践を進めていきます！

今年度実施した『防災ウォーク』や『防災まちづくり意見交換会』を踏まえて、**袋路（行き止まりの路地）の入口部の改修**や**2方向避難経路の確保**、**ブロック塀の改善**など、京都市の助成制度を活用し、**今ある危険を取り除く取組**を進めていきます！助成制度には、下記のようなものがあります。

事例：トンネル路地の表札門の改修（正親学区）



袋路等始端部整備事業

内 容：袋路等の入口部において、袋路等の避難安全性を向上させるための工事に要する工事

助成額：上限**50万円**（全額補助）

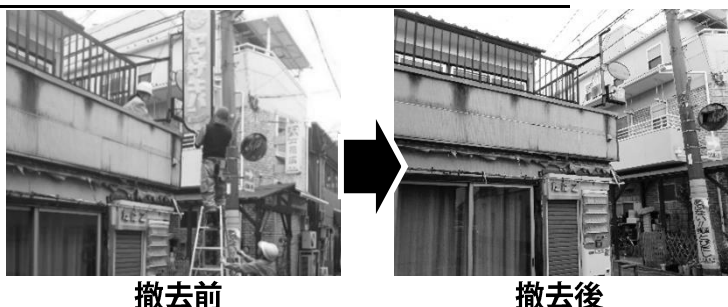
問合せ先：京都市まち再生・創造推進室
（密集市街地・細街路対策担当）

電 話：222-3503

お知らせ

落下の危険があった看板が撤去されました！

11月8日に上長者町通猪熊西北角にある、老朽した**空き店舗の縦看板**を、**自主防災会の発動発電機**を使って、京都市により**撤去**されました。



撤去前

撤去後